2014.11.17

総会

●日本防水工法開発協議会

日本防水工法開発協議会（吉田喜廣会長）は13日、都内で総会を開催し、屋上防水エアーコントロールの開発や販売促進などをはじめとする事業計画を決議した。役員改選では吉田会長＝写真＝を再選した。

吉田会長は「会では互いの技術などを学び合う勉強会を行っており、会員それぞれが国内外で通用する製品・工法を開発している。そのような会で会長を引き受けられることは誇り。一生懸命取り組みたい」とあいさつした。

事業計画には、技術研究所の開設、オレフィン系防水シートの開発、展示会への共同出展、海外展開の検討なども盛り込んだ。また、総会終了後に経済産業省関東経済産業局の志村典彦課長補佐が来年度の中小企業支援補助事業を説明したほか、会員各社が製品・研究成果についての発表を行った。

ネットスクール

建設業経理検定試験を分析

1級は難易度が平準化

ネットスクール（千代田区）は、建設業振興基金が実施する建設業経理検定試験の合格発表を受け、試験内容や難易度について分析した結果を発表した。財務諸表など1級の3科目は難易度が平準化しており、基礎知識の対策をしていた受験者には比較的易しい試験だったと分析している。

1級の財務諸表では、伝統的な会計理論問題の出題が目立った。財務分析は平均的な難易度。原価計算は、最近試験範囲に加わった意思決定会計問題が出題された。同社の担当者は「基礎知識の対策が合否を分けた可能性がある」と分析。詳細な分析は別表を参照。2015年3月に実施する同試験の申込締切は11月末まで。

級・科目		分析内容	難易度	合格率※
1級	財務諸表	最近では珍しく、非常に伝統的な会計理論に関する出題が目立った。計算問題では過去問題を繰り返し練習してきた受験生には、比較的易しい問題だったと思われる	平均的	26.8%
	財務分析	例年どおりの出題内容・難易度。特に難しすぎたり、易しすぎたりはなく、平均的な難易度の問題	平均的～やや易しめ	32.2%
	原価計算	数年前に試験範囲に加わったため出題実績に乏しい意思決定会計問題が、5題中2題出題されたことが、大きなサプライズ。この内容の基礎知識を対策していたか否かが合否を分けた可能性がある	難しめ	27.5%
2級		ほぼ毎回同じ出題内容だったが、第4問だけが例年と異なるパターン。内容そのものはむしろいつもより易しかったため、落ち着いて問題に臨めば問題はなかったと思われる。しかし、想定以上に苦戦した受験生が多かった模様。	平均的～やや易しめ	34.8%

※合格率は主催者ホームページから抜粋

同社は、基本講義や過去問題を使い効率的な解き方や重要なポイントをオンデマンドで配信。自動集計の模試や予想・質問会なども行っている。

問い合わせ先は電話03（6823）6458。

オフィス家具

可動・軽量を重視

イトーキが新商品発表会